

業績目録

(平成十五年一月～十二月・五十音順)

●唐 娜

〔論文〕

「心情表現と衣裳の記述―物語『夜の寢覚』原作と改作対比して―」

〔甲南女子大学大学院論集 文学・文学研究編 第二号〕平成十六・三

●八木 直子

〔論文〕

「弁慶説話―出会いの場面について―」

〔甲南女子大学大学院論集 文学・文学研究編 第二号〕平成十六・三

平成十六年度

人文科学総合研究科 日本文学専攻

院生研究発表会題目

六月三十日(水)

モダリティの概観と「ようだ」「らしい」について

博士前期課程二年 安部真理亜

上代におけるカヅラについて―カヅラとその呪力―

博士前期課程一年 清水 循子

『平家物語』の芸能化―敦盛を中心に―

博士前期課程二年 玉田 聖子

十二月十五日(水)

大正六年前後における志賀直哉の「心境」

―『城の崎にて』を中心に― 博士前期課程一年 王 亮

日本語と韓国語の身体語彙慣用句の相違点

―「目」を中心として― 博士前期課程一年 金 仙花

中の君の婚姻を巡る老関白と大納言

―『夜の寢覚』中間欠巻部分の復原― 博士後期課程三年 唐 娜

『異本義経記』の注記について

―『予章記』との関係を中心に― 博士後期課程三年 八木 直子